

横手市商工業振興計画(案)にお寄せいただいたご意見の概要と市の考え方

1. 募集期間 平成31年2月1日(金)～平成31年3月4日(月)
 2. 提出者 2名 ご意見項目5件

No	項目	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
1	労働生産性の向上と付加価値額の増大 (計画案P17)	<p>「より効率的な生産体制を構築することで、付加価値額の増大を図る必要があります。」と記載されていますが、「効率的な生産体制」のもとで生み出された付加価値額というのは、量的生産による収益の増大であって、付加価値額(製品単体における付加価値)に変化はないのではないのでしょうか?</p> <p>付加価値というのは、あくまでも商品単体についての価値額であって、付加価値額の増大は、効率的な生産体制だけでもたらされるものではないと思います。</p>	<p>ご指摘ありがとうございます。</p> <p>「労働生産性の向上」と「付加価値の増大」について、それぞれ切り分けた表現となるよう以下のように修正させていただきます。</p> <p>「商業・工業を問わず多様な側面から、より効率的な生産体制を構築し労働生産性の向上を図る必要があります。また、魅力ある商品開発やサービスの向上など各種産業の特性に即した付加価値額の増大を図る必要もあります。」</p>
2	成果指標 市内総生産額目標値 (計画案 P24)	<p>2023 年目標値を「2,947 億円」としていますが、P13 の横手市の市内総生産額推移のグラフでは、3,000 億円±100 億円ぐらいの横ばいとなっています。目標値とするならば、3,000 億円を維持するという意味で「3,000 億円」とすべきではないのでしょうか?</p>	<p>横手市の市内総生産額は、東日本大震災前の水準に回復していないのが現状です。</p> <p>2023 年の目標値につきましては、この現状を鑑みつつ、実質GDP推計値等を参考にして、目標値を設定させていただきました。</p> <p>今後、本計画を着実に実行することで、市内商工業の成長を促進させ、市内総生産額が目標値に近づくよう、各種施策に取り組んでまいります。</p>

No	項目	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
3	元気・にぎわいについて (全体的に)	計画内で「元気」「にぎわい」という言葉を多く使われていますが、横手市として「元気」「にぎわい」をどのように定義づけしているのでしょうか？	横手市として「元気」「にぎわい」を具体的に定義づけているものではありませんが、本計画内において「元気」「にぎわい」という言葉は、地域経済、地域商業を活性化させることを表現するために使用しています。
4	表紙下部の発行年月について (表紙)	表紙の下部に発行年月が記載されていません。	ご指摘ありがとうございます。 表紙下部に発行年月を記載いたします。
5	西暦・年号の表記について (全体)	1頁中「本計画の期間は、平成 31 年度(2019 年度)から平成 35 年度(2023 年度)までの 5 カ年(中期計画)とします」とありますが、平成 35 年度はありませんので、西暦表記がよいと思われれます(以下、全頁同じ)。	ご指摘ありがとうございます。 西暦表記を基本とし、年号を記載する場合は、現在年号を起点とした参考値として、西暦表記の後に括弧書きで記載いたします。 なお、表紙につきましては、計画策定予定時の年号がまだ「平成」であるため、年号のみの記載といたします。